



豊川市行政経営改革プランを策定しました。

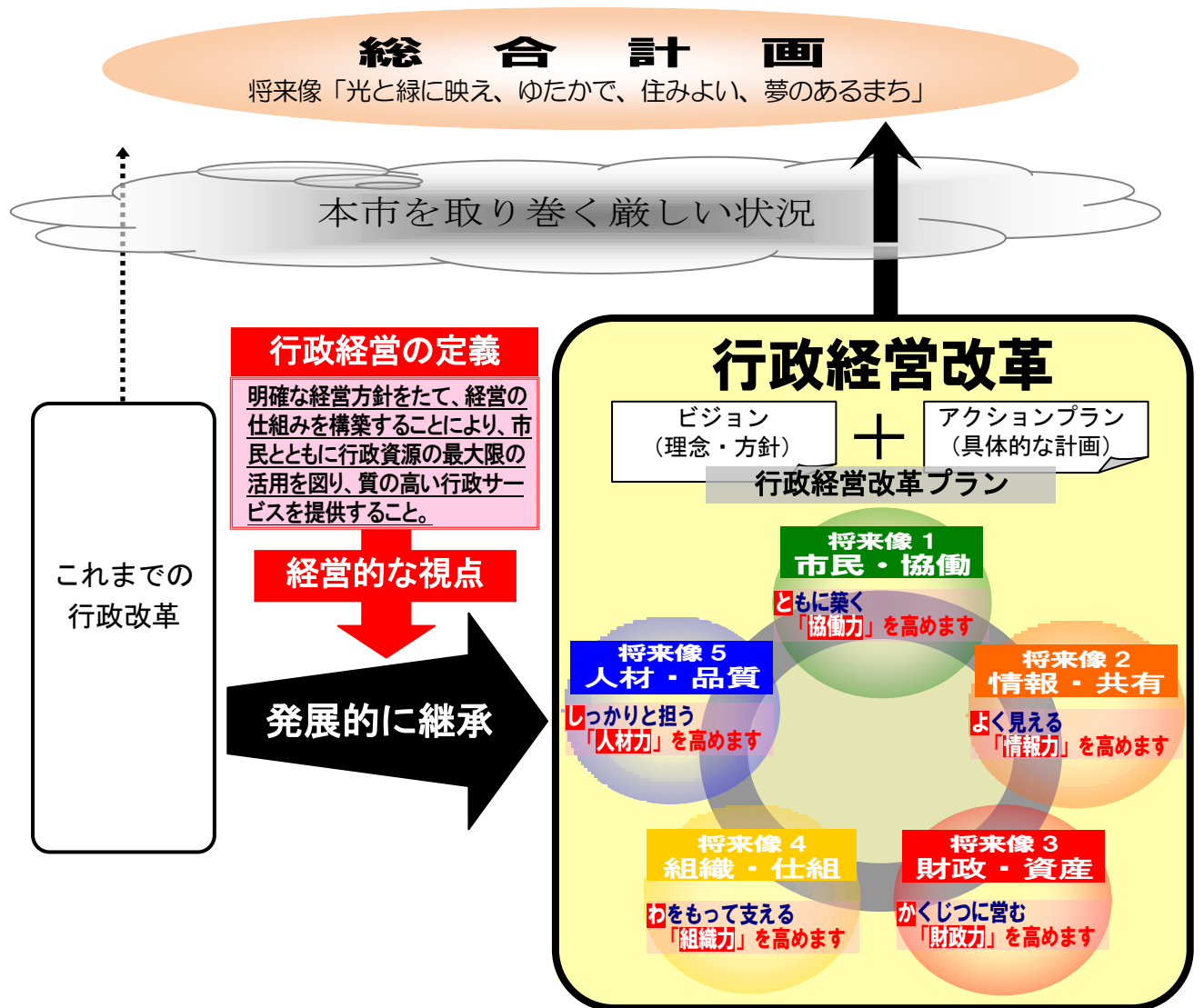
行政経営改革の理念と方針(行政経営改革ビジョン 平成 24 年 3 月策定)

新たに「経営的な視点」を加えた「行政経営改革」を市民とともに取り組むことにより、本市を取り巻く厳しい状況乗り越え、総合計画の将来像の実現を目指します。

現在、本市を取り巻く状況は、様々な要因により大変厳しくなっており、今後、安定した行政運営を継続していくにも相当の困難な状況が予測されます。

本市ではこれまで「行政改革」を実施し、近年では、最大の行政改革と言われる「合併」を3回実施し、行政運営の効率化を図ってきましたが、現状の厳しさを打開し、総合計画の実現を図る「エンジン」としての十分な推進力がありません。

そこで、これまでの行政改革を発展的に継承し、これまでの行政運営に「経営的な視点」を加えた「行政経営改革」を実施するため、理念や方針を定める「豊川市行政経営改革プラン行政経営改革ビジョン」を策定しました。経営的な視点のもと、5つの将来像と改革方針を定め、相互に関連しながら一体的に推進を図り、総合計画の将来像である「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」の実現を目指します。



行政経営改革の具体的な計画(行政経営改革アクションプラン 平成24年10月策定)

■アクションプランの目的と概要(アクションプランP. 3)

- 「行政経営改革ビジョン」の実現を図るため、具体的に計画を定めるもの。
- 取組に関する共通項目とビジョンの将来像ごとに設定した具体的な取組内容から構成

■計画期間(アクションプランP. 3)

- アクションプランは向こう3年間の計画を毎年ローリングにより策定
- 今回のアクションプランは、平成24年度から平成26年度までの3か年分を計画

■取組の体系と重点項目(アクションプランP. 4~7)

- 各将来像のもとに階層順に「施策」－「改革手段」－「具体的取組」を設定して体系化し、分かりやすく取組内容を整理
- 今回のアクションプランは、施策18件、改革手段44件、具体的取組142件設定
- 具体的取組の重要度、緊急度、市民影響度を総合的に勘案し、より強力に推進していく必要がある取組を「重点取組」として位置づけ、18項目を設定

将来像と改革方針	施策	改革手段等の数	重点取組
将来像1 市民・協働	①市民参画の推進 ②市民協働の推進 ③企業など他団体との連携の強化	改革手段 9件 具体的取組 28件	①町内会の加入促進と活動活性化 ②協働の仕組づくりの推進 ③ボランティア・市民活動センターの機能の充実 ④大学との連携の推進
将来像2 情報・共有	①地域情報化の推進 ②広報機能の強化 ③説明責任と透明性の拡充	改革手段 4件 具体的取組 23件	⑤みてみん!の有効活用 ⑥広報機能の強化 ⑦見える化の推進
将来像3 財政・資産	①歳出の最適化 ②歳入の確保の強化 ③財政健全化の推進 ④公有財産の最適化	改革手段 13件 具体的取組 37件	⑧補助金などの見直し ⑨税収などの確保策の強化 ⑩債務の削減 ⑪ファシリティマネジメントの推進
将来像4 組織・仕組	①トップマネジメントの確立 ②柔軟な組織・権限の見直し ③マネジメントサイクルの確立 ④マーケティング機能の強化	改革手段 8件 具体的取組 18件	⑫出先機関の見直し ⑬外郭団体の見直し ⑭評価手法の導入
将来像5 人材・品質	①少数精鋭の推進 ②窓口サービスの向上 ③行政情報化の推進 ④業務改善の推進	改革手段 10件 具体的取組 36件	⑮少数精鋭の推進 ⑯総合窓口の設置の検討 ⑰情報システムの全体最適化の推進 ⑱業務改善の推進

■目標とスケジュール(アクションプランP. 8)

- 目標
アクションプランの目標を明確化するため、「進捗率」、「実施率」、「収入増加額・支出削減額」を指標として設定
- スケジュール

最終目標(平成27年度)	
進捗率	100%
実施率	90%
支出削減額 収入増加額	今後、中期的な「財政計画」 をもとに設定

- 進捗状況の確認や検証・評価を実施し、取組状況を、報告書を作成して公表します。

■具体的な取組内容(アクションプランP. 9~60)

- 各将来像の施策－改革手段別に現状・課題、改革方針、具体的取組を整理